

<https://mizumawa-ri.com/>

キッチンチェックリスト

◎形状

まずは、土台になる形状の方向性のある程度固めましょう。
キッチンには、様々な形状があります。
形状によっては、そもそも選べないモノもあります。

チェックポイント：形状-I型 フラット型 アイランド型 etc...
寸法-2550(一般的なサイズ) 2400 etc...



◎扉色

お気に入りの色を探しておきましょう。実際にショールームでは、質感や雰囲気を経験しましょう。シリーズによっては、種類が豊富にあるため、事前に予習しておかないと、比較よりも探す作業に時間が割かれ、「とりあえずこれ」になってしまいます。

チェックポイント：見た目-鏡面 マット 木目(木目方向) etc...
材質-メラミン オレフィン DAP etc...

◎天板 & シンク

天板とシンクの材質をどうするか方向性だけ決めておきましょう。また、そのシンクを使うことを想像して、気になる点を洗い出しておくのも良いでしょう。

チェックポイント：方向性-ステンレス 人大 etc...
気になる点-機能性 清掃性 排水口の形状etc...

◎水栓

どんな形状で、こういった機能を求めるか方向性を決めておきましょう。
設置位置(左/右)をどうするか。操作性やデザインを実際に確認してみましょう。

チェックポイント：機能-タッチレス 浄水機能の有無 etc...



◎食洗機

食洗機の有無。浅型・深型どちらにするか方向性を決めておきましょう。カタログに記載がない食洗機もご用意することができる場合があります。
自分のお気に入りの食洗機がある場合、用意できるのかも確認してみましょう。

チェックポイント：形状-浅型 深型 ワイド型 etc...
メーカー-パナソニック リンナイ 三菱電機 etc...

◎加熱機器

熱源をIHかガスどちらにするか。加熱機能は2口か3口か方向性を決めておきましょう。操作性やデザインを実際に確認してみましょう。

チェックポイント：機能-清掃性



◎その他オプション仕様

各メーカー特徴あるオプションを用意しています。気になるオプションは、ショールームに来場した際に、実際に体験して必要の有無を判断してみましょう。
また、人気のオプションを聞いてみるのもお勧めです。併せて、人気の理由を確認し、自分の生活と照らし合わせてみることで、自分にとっては必要かを判断しやすくなります。

チェックポイント：どんなものがあるか見てみる



お風呂チェックリスト

◎浴室パネル色

お気に入りの色を探しておきましょう。実際にショールームでは、デザインや雰囲気を体験しましょう。シリーズによっては、種類が豊富にあるため、事前に予習しておかないと、比較よりも探す作業に時間が割かれ、「とりあえずこれ」になってしまいます。

チェックポイント：色-1面デザイン 全面(4方)デザイン etc...



◎浴槽

一般的なFRP素材の浴槽から人大素材のモノまで様々。各メーカー様々な特徴を展開していますので、自分の中である程度の優先順位（清掃性、保温性、丈夫さ）を決めておく選びやすくなります。

チェックポイント：材質-FRP 人大 鋳物 etc...
機能-清掃性 保温性 丈夫さ etc...



◎床

一般的なFRP素材のものから、タイル仕上げのモノまで様々。各メーカー様々な特徴を展開していますので、自分の中である程度の優先順位（清掃性、保温性、丈夫さなど）を決めておく選びやすくなります。

チェックポイント：材質-FRP タイル etc...
機能-清掃性 保温性 丈夫さ etc...

◎カウンター＆水栓

清掃性の観点から、カウンター無しが増えてきています。本当に必要かどうかの検討も必要になってきます。

チェックポイント：清掃性 デザイン etc...



◎照明

壁・天井どの設置方法が好みか。またメーカーによっては電球の色も選べるので、イメージを決めておきましょう。

チェックポイント：種類-壁付け ダウンライト ライン照明 etc...
灯り-電球色 白昼職 etc...

◎ドア

普段から使い慣れている折れ戸から、開放感を感じる開き戸など様々なドアが用意されています。こんなものがあるんだ～程度の把握で大丈夫です。

チェックポイント：種類-折れ戸 開き戸 片引き戸 etc...
色-ホワイト グレー ブラック etc...

◎その他オプション仕様

各メーカー特徴あるオプションを用意しています。気になるオプションは、ショールームに会場した際に、実際に体験して必要の有無を判断してみましょう。
また、人気のオプションを聞いてみるのもお勧めです。併せて、人気の理由を確認し、自分の生活と照らし合わせてみることで、自分にとっては必要かを判断しやすくなります。

チェックポイント：どんなものがあるか見てみる



<https://mizumawa-ri.com/>

洗面化粧台チェックリスト

◎形状

フラット形状、ハイバック形状、ベッセル形状など様々な種類がありますので、どの形状が好みか決めておきましょう。ショールームで実際に体験してみて、使い心地や雰囲気を再確認しましょう。

チェックポイント：形状-フラット ハイバック ベッセル etc...
機能-清掃性



◎扉色

お気に入りの色を探しておきましょう。実際にショールームでは、質感や雰囲気を体験しましょう。シリーズによっては、種類が豊富にあるため、事前に予習しておかないと、比較よりも探す作業に時間が割かれ、「とりあえずこれ」になってしまいます。

チェックポイント：見た目-鏡面 マット 木目(木目方向) etc...
材質-メラミン オレフィン DAP etc...

◎下台収納

奥のモノまで取り出しやすい、2段引出しが人気。高さのあるものが収納できる両開きタイプやデザイン性に優れたフロートオープンタイプなど様々な下台があります。自分の生活に合うものを探してみましょう。

チェックポイント：形状-2段引出し 両開き フロートオープン etc...
機能-収納量 清掃性 etc...

◎ミラー

3面鏡が一般的だが、1面鏡や自分でミラーを別途用意・設置する方法などもあります。

チェックポイント：材質 木製 樹脂製 etc...
機能 収納 照明 etc...

◎その他オプション仕様

各メーカー特徴あるオプションを用意しています。気になるオプションは、ショールームに来場した際に、実際に体験して必要の有無を判断してみましょう。
また、人気のオプションを聞いてみるのもお勧めです。併せて、人気の理由を確認し、自分の生活と照らし合わせてみることで、自分にとっては必要かを判断しやすくなります。

チェックポイント：どんなものがあるか見てみる

